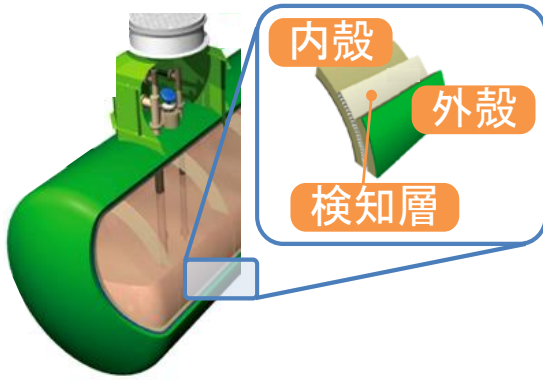


SS等における燃料の保管容量を増強し、災害時の安定的な燃料供給体制を構築する（全国）

事業者：揮発油販売業者等

地下タンクの入換・大型化



鋼製一重殻タンクの撤去及び大型二重殻タンクの設置

ベーパー回収設備導入



※ベーパー回収設備：
給油時等に空気中に揮発するガソリン留分を回収する設備

対策名：68 サービスステーション(SS)等の災害対応能力強化対策



主たる施策グループ：2-4) 被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止

事業名：災害時に備えた地域におけるエネルギー供給拠点の整備事業費

- ポイント**
- SS等における地下タンクの入換・大型化、ベーパー回収設備の導入により、燃料の保管容量を増強
 - 災害時にも対応できる十分な燃料在庫を確保

地域の概要・課題

東日本大震災以降、自家発電設備を備えたSSの大規模整備を進め、停電により燃料を給油できないリスクは減少しましたが、引き続き、信号の停止や道路の損壊等の交通網の混乱による物流停滞リスクが残っていました。災害時にも安定的に燃料を供給するため、各SSにおけるガソリン等の燃料の保管容量を増強し、十分な燃料在庫を確保しておくことが必要でした。

事業の概要

SS等において地下タンクの入換・大型化やベーパー回収設備※の整備を行い、十分な燃料在庫の確保対策を実施します。

※給油時等に空気中に揮発するガソリン留分を回収する設備

見込まれる効果

SS等において燃料在庫の確保対策を実施することで、地震等の災害時におけるより安定的な燃料供給体制が構築され、地域のエネルギー供給拠点として機能することが見込まれます。

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンス
への転換に向けた老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進
デジタル化に関する施策の

(2) 災害関連情報の予測、収集・集積・